

第2投目：大会中に運良く自己記録更新！

2013.2月某日、いよいよ奄美磯釣連盟2月大会が始まりました。我が釣りクラブは幸先の良いスタートを切り、3日間大会の初日に4名がエントリーサイズのクロを釣り上げています。

2日目は私も同船し、北風が多少強めの肌寒い天候の中、与路島へ向かいました。まだ薄暗い中、メンバーのご厚意でA級磯であるT瀬に2名で降りてもらい、さっそく釣り開始です。

この日は北からの波も大きく、船着けする岩も波が定期的に洗います。一緒に乗ったメンバーと高台から身を寄せ合うように仕掛けを入れますが、サラシが大きく広がる海はそう簡単に仕掛けをとどまらせてくれません。釣り始めて約1時間、ついに相方がエントリーサイズのクロをゲット！私は悔しい気持ちを隠しつつ、顔に苦笑いを浮かべながらのタモ入れです（笑）

さあ～いよいよ焦りが出てきました。ただでさえ良い海の状況とは言えないなか、残り2日間にどれだけチャンスが残っているのか…『思いついたことは全てやる！』そう意識しながら、午前11時頃までT瀬を攻めますが、見える魚の活性はどんどん下がる一方です。

昼から上げ潮に変わる時場合も捨てがたかったのですが、流れを変えなくては…私は瀬替りを選択しました。本日残された2時間の勝負にかけ、T瀬からの瀬替りという究極の決断を実行、結果この決断が最高の結果につながるということは、この時点ではまだ知る由もありませんでした。

さて、替わって乗った磯は与路島と請阿室の間にある小さな岩、時間になると激流が磯際を通っていきます。初めて乗る磯だったので、まずは岩の周囲を撒き餌しながら観察して歩きました。30分が経過し、いよいよ上げ潮に変わる予定の時間になりました。自分が最終的に選択したのは本流に引かれる潮と波による払い出しが小さくぶつかる場所、水深も浅かったため魚も観やすく、取り込みも人間に有利になると感じたからでした。

そこで釣り始めて10分後、ついに潮下から姿を見せたクロを1匹確認。最初は底のほうで餌を数回拾っていましたが、後にはキワから一瞬飛び出して餌を拾う活性に上昇↑

その後はイメージ通り自分の刺し餌を食べてもらい、やり取りへ…『よし、エントリーはできるサイズじゃ』と落ち着いてタモに入れたクロはなんと自己新記録の52cm！！

我がクラブ設立以来、初めて6位まで上位独占できたこの記念すべき大会は、瀬替わりという選択で拾った運を見事優勝という結末につなげることができた思い出深いものになりました。

